

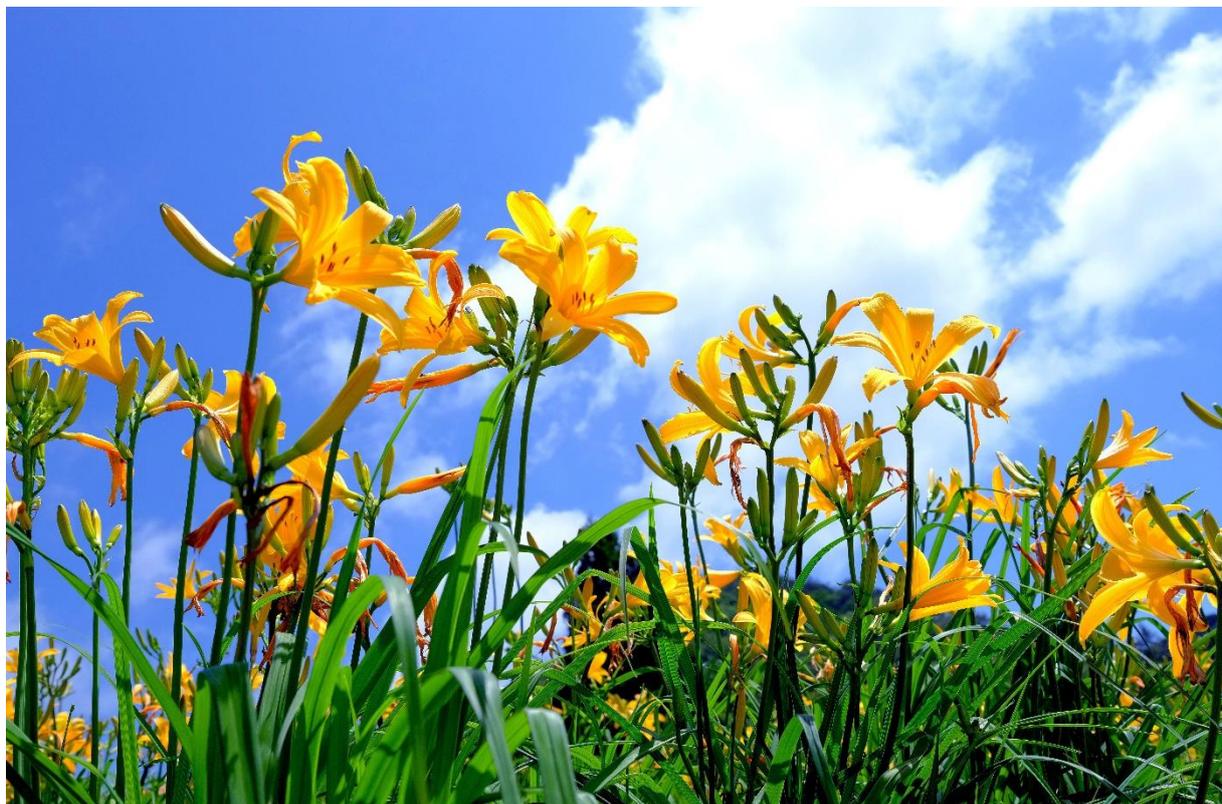
津山中央病院 連携広報誌

2023年

7月号

メディネット

Vol.237



恩原高原の見上げるニコウキスゲ（上齋原）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

食道裂孔ヘルニアについて

『 食道裂孔ヘルニアについて 』

津山中央病院 救急外科 主任部長
外傷センター長

繁光 薫

専門領域

・消化器外科・腹部救急外科

専門医・指導医

- ・日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・日本救急医学会専門医
- ・日本食道学会食道科認定医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医
- ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- ・日本腹部救急医学会腹部救急教育医
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医
- ・日本がん治療認定医



体内には、胸部（肺や心臓などが入っている部分）と腹部（胃や腸、肝臓などの臓器が入っている部分）を隔てている横隔膜という筋肉の薄い膜があります。横隔膜には、食道が通る穴（食道裂孔と呼ばれる）があいていますが、ここから、本来、腹部（横隔膜の下部）にあるべき胃やその他の臓器が胸部（横隔膜の上）に飛び出してしまうのが＜食道裂孔ヘルニア＞です（図1）。

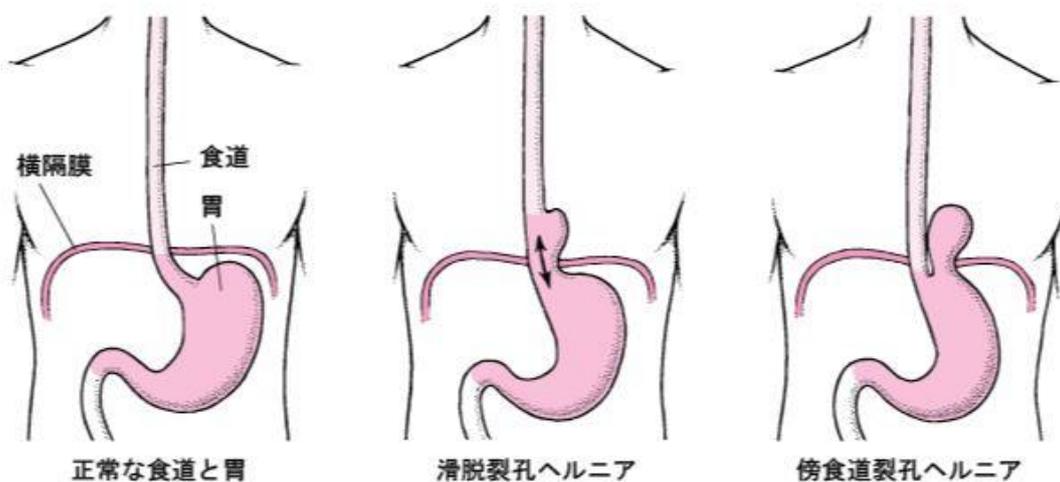


図1：食道裂孔ヘルニア

食道裂孔ヘルニアは症状のない場合が多いのですが、胃酸が食道に逆流しやすい状態になっているため、＜胃食道逆流症＞や＜逆流性食道炎＞により、胸やけや呑酸（すっぱいものや苦いものがのどにあがってくる）、消化不良などの症状が現れることがあります。また、飛び出した胃や他の臓器が横隔膜に締め付けられてしまったり、胸の中で捻転した場合、血流が悪くなって壊死してしまうことがあります。痛みを伴うこの重篤な状態は、嵌頓（かんとん）と呼ばれ、緊急手術が必要になることがあります。さらに、脱出した臓器により肺や心臓が圧迫されて呼吸困難や心不全などの症状をきたすこともあります。

食道裂孔ヘルニアの原因は、ほとんどは肥満や亀背（腰がまがってしまうこと）などにより、腹圧が上がって胃が押し上げられてしまうことです。加齢により横隔膜の孔が広がってしまうことでも生じます。

治療は、まず逆流を起こしにくいような生活習慣、食生活を心がけることです。食後にすぐ横にならない、寝るときに頭の位置を高くする、1回の食事量を減らして何回かに分けて食べる、体重を減らす、刺激物を避ける、などが勧められます。さらに、胃酸を抑える薬（制酸剤・プロトンポンプ阻害剤・H2 ブロッカーなど）を服用します。

投薬による治療で改善しない場合や、胃や食道が締め付けられすぎる場合は、手術で治療をすることがあります。全身麻酔で、①胸に飛び出した胃や他の臓器をおなかに引き戻す ②緩んだ食道裂孔を糸で縫い縮める ③下部食道に襟巻のように胃の壁を巻き付け、逆流を予防する（図2）、という手術です。以前は開腹手術で行われていましたが、近年、腹腔鏡手術の技術が向上し、腹部に数か所小さい傷をあけて、細い器具とビデオカメラを挿入して行う腹腔鏡手術が普及しており、当院でもこの手術を第一選択として行っています（図3）。

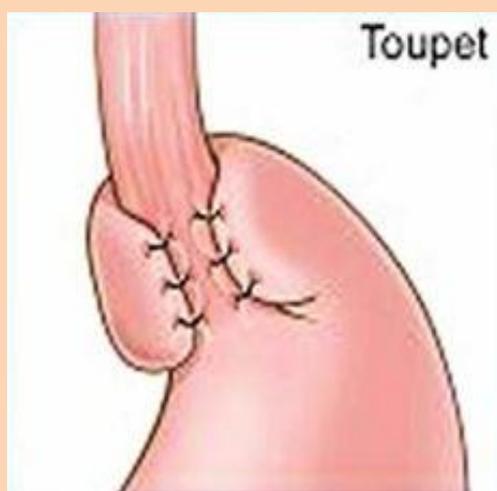


図2：逆流予防手術

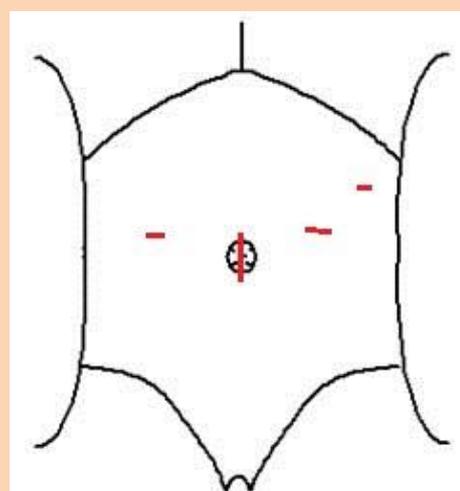


図3：腹腔鏡手術切開部

セミナー・講演会情報

●CC セミナー（Web 併用のハイブリッド形式）

講演 『非結核性抗酸菌症について』

- ・講師 内科 部長 武田 洋正 先生
- ・日時 2023年7月11日（火）19:00～20:00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

連携登録医懇親会について

このたび新型コロナにより中止しておりました「第7回連携登録医懇親会」を下記のとおり開催したいと思います。

地域の先生方と顔の見える連携を深めるため、また多くの職種の方々にもご参加いただき意見交換を行い、有意義な会にしていきたいと思っております。当院からは、すべての診療科からスタッフが参加いたします。医療連携に関しての貴重なご意見をいただき、連携の方法や大切さを一緒に勉強したいとも考えておりますので、多数のご参加お待ちしております。

津山中央病院

院長 林 同輔
副院長 竹中 龍太
(地域連携担当)

日時:令和5年8月17日(木)

19:00～21:00(20:00～懇親会)

場所:津山鶴山ホテル 2階鶴の間

<第一部> 19:00～19:50

演題1:TAVI(経カテーテル的大動脈弁植え込み術)

演題2:「緩和ケア外来・病棟の開設」

演題3:「ダヴィンチ(消化器ロボット支援手術)」

<第二部> 20:00～21:00

「懇親会」



【照会先】

津山中央病院 地域連携室
津山市川崎 1756
TEL:0868-21-8111(代表)
FAX:0868-21-8201
E-mail:andol1@tch.or.jp